HPVワクチンをめぐる出来事

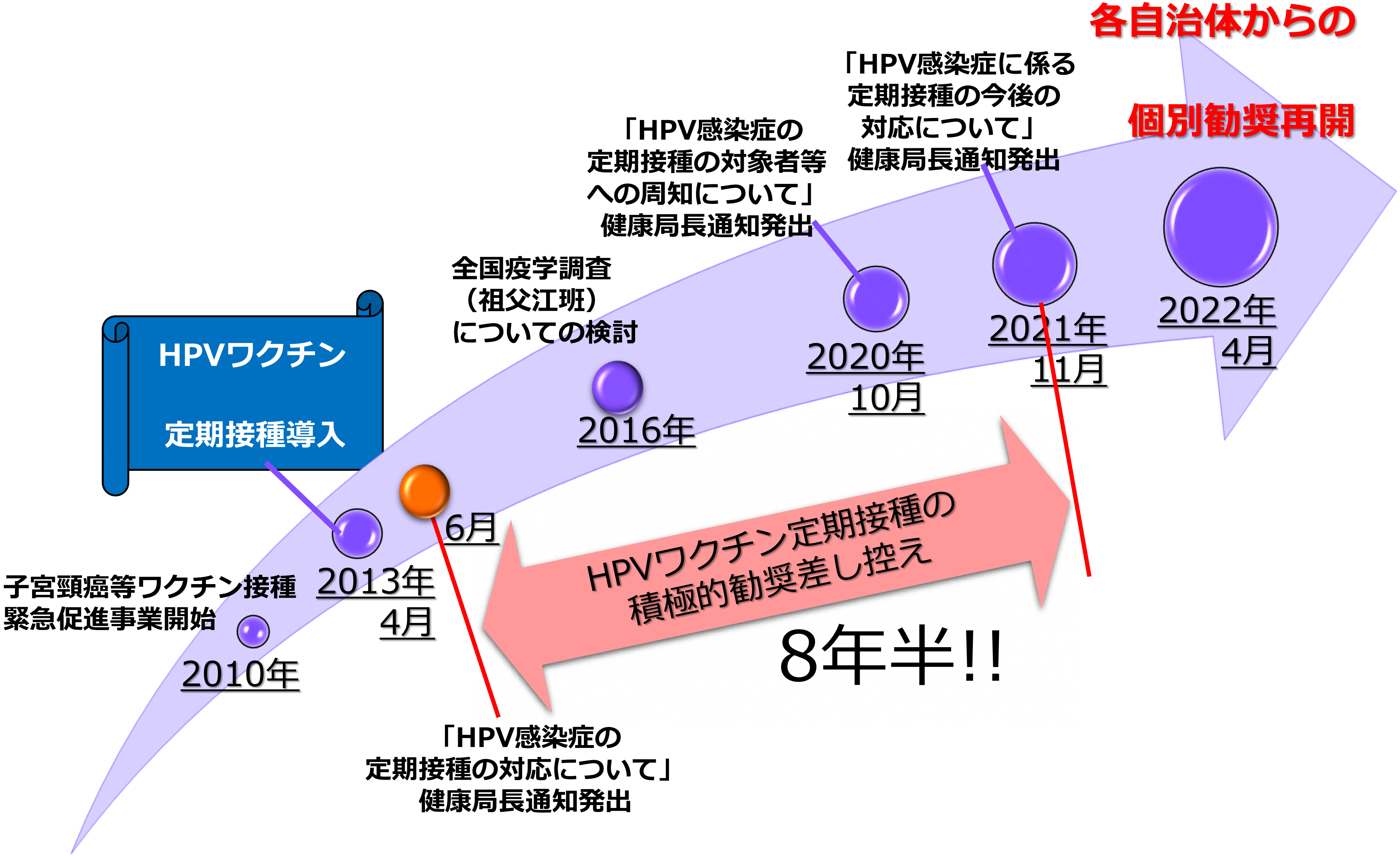
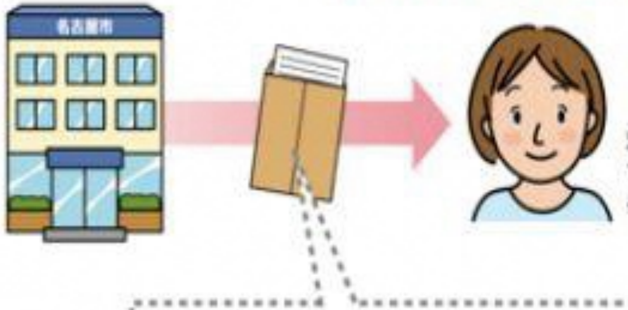


図18　名古屋スタディーについて

71,177人を対象としたアンケート調査
(29,846人回答)



対象：
1994-2001年度生まれの女子
※HPVワクチン無料接種対象者

質問内容

◆「24項目の症状」の有無
24項目の症状による病院受診の有無・頻度、学校の出席に影響したか等

24項目の症状

1	月経不順	13	なかなか眠れない
2	月経量の異常	14	異常に長く寝てしまう
3	関節やからだが痛む	15	皮膚が荒れてきた
4	ひどく頭が痛い	16	過呼吸
5	身体がだるい	17	物覚えが悪くなった
6	すぐ疲れる	18	簡単な計算ができなくなった
7	集中できない	19	簡単な漢字が思い出せなくなった
8	視野の異常	20	身体が自分の意志に反して動く
9	光を異常にまぶしく感じる	21	普通に歩けなくなった
10	視力が急に低下した	22	杖や車いすが必要になった
11	めまいがする	23	突然力が抜ける
12	足が冷たい	24	手や足に力が入らない

結果

24項目全ての症状において、ワクチン接種後にその発症が増える結果は得られなかった。
また、ワクチン接種者では、3つの症状（月経量の増加・月経不順・ひどい頭痛）で病院への受診が増えたが、**生物学的関連性に起因するものとは考えにくい。**

結論

HPVワクチン接種と、報告されている24の症状発生との間に因果関係は示されなかった。

（出典：Suzuki S, et al. Papillomavirus Res 2018より作図）

©JSOG All Right Reserved

有害事象と副反応

有害事象

ワクチン接種後に生じたあらゆる好ましくない症状や病気（時間的関連性があるだけ）

副反応疑い

ワクチン接種を受けたことによると疑われる症状や病気に限らず、因果関係が明らかではない事象も含む

真の副反応

ワクチン接種と因果関係がある事象

ワクチン接種後の有害事象（WHO）

- ワクチンの成分に対する反応
- ワクチンの品質の欠陥による反応
- 接種手技の誤り（ワクチンの取り扱い、接種方法の誤り）
- 偶発的な事象（紛れ込み）
- 不安に関連する反応（接種以外も含む）

日本では、マスコミもこの区別がつかずに混乱
国のワクチン接種登録システムも存在しない

→ 積極的勧奨差し控えとなってしまった

HPVワクチンのリスク

HPVワクチン接種後には、
多くの方に、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。
まれですが、重い症状（重いアレルギー症状、神経系の症状）※1が起こることがあります。

発生頻度	２価ワクチン(サーバリックス®)	４価ワクチン(ガーダシル®)	９価ワクチン(シルガード®9)
50%以上	疼痛*、発赤*、腫脹*、疲労	疼痛*	疼痛*
10~50%未満	掻痒(かゆみ)、腹痛、筋痛、関節痛、頭痛など	紅斑*、腫脹*	腫脹*、紅斑*、頭痛
1~10%未満	じんましん、めまい、発熱など	頭痛、そう痒感*、発熱	浮動性めまい、悪心、下痢、そう痒感*、発熱、疲労、内出血*など
1%未満	知覚異常*、感覚鈍麻、全身の脱力	下痢、腹痛、四肢痛、筋骨格硬直、硬結*、出血*、不快感*、倦怠感など	嘔吐、腹痛、筋肉痛、関節痛、出血*、血腫*、倦怠感、硬結*など
頻度不明	四肢痛、失神、リンパ節症など	失神、嘔吐、関節痛、筋肉痛、疲労など	感覚鈍麻、失神、四肢痛など

サーバリックス®添付文書（第14版）、ガーダシル®添付文書（第2版）、シルガード®9添付文書（第1版）より改編　　*接種した部位の症状

因果関係があるかどうかわからないものや、接種後短期間で回復した症状をふくめて、
HPVワクチン接種後に生じた症状として報告があったのは、接種1万人あたり、約10人です。
このうち、報告した医師や企業が重篤※2と判断した人は、接種1万人あたり、約6人です※3。

厚労省ホームページ・厚労省発行のリーフレットより抜粋

ISRR

予防接種ストレス関連反応

Immunization-Stress Related Responses

- 接種前
- 接種時
- 接種後
- 数日以降

◆ 接種前～接種後5分程度まで

急性ストレス反応

不安感、動悸、過換気、発汗など

血管迷走神経反射

血圧低下や徐脈、めまい、失神など

◆ 数日たってから

解離性神経症状反応（DNSR）

脱力、麻痺、異常な動き、歩行障害、
言語障害、手足の動かしにくさ、

説明のつかないけいれんなどの症状

日本産婦人科医会 研修ノート「No.106 思春期のケア 4.思春期の予防接種と接種ストレス関連反応」

ISRR発症のリスク因子

◆10～19歳

◆血管迷走神経性失神の既往

◆注射にまつわる良くない経験

◆注射や医療処置に対する恐怖心

◆不安障害や発達障害（特に自閉スペクトラム症）

日本産婦人科医会 研修ノート「No.106 思春期のケア 4.思春期の予防接種と接種ストレス関連反応」

IRSSを起こさないために

横になって接種する

接種部位の圧迫や冷却

細い針を使う
薬液は素早く注入

局所麻酔
（保険適用外）

注意をそらす
（反対の手でボールペンをカチカチする）

信頼できる家族や友人の付き添い

甘いものを摂る
（内因性オピオイドの分泌）

力を入れない
（腕を伸ばす、強く閉眼しない）

接種後すぐに立ち上がらない

もしも
有害事象や
副反応が
起こったら…

鳥取大学医学部附属病院
HPVワクチン接種後症状支援チーム
（2022年10月より活動）

女性診療科

- 小児科
- 脳神経小児科
- 脳神経内科
- 整形外科
- リハビリテーション科
- 麻酔科 ペインクリニック外科
- 児童精神科
- 臨床心理学
- 薬剤部

安心してHPVワクチンが受けられるような体制作り

HPVワクチン公費接種の対象者

【定期接種対象者】
小学6年生～高校1年生の女子

約9万円のワクチン接種が無料で受けられます。

【キャッチアップ接種対象者】
H9年4月2日～H20年4月1日生まれの女子
（1997年）　（2008年）

キャッチアップ接種が無料になるのは、R4-R6年度の3年間だけです。